

# 日本PTA全国研究大会・広島大会について

大阪府PTA協議会・理事

折田有里

2023年8月25・26日と日本PTA全国研究大会に参加いたしました。

1日目は呉市の呉阪急ホテルにて開催されました第6分科会「防災教育」に小坂さん・北田さん・松井さん・福田さん・村上さん・松原市の松未さんと参加しました。

基調講演の講師はあんどう りすさんの「学校で学ぶ知恵は、すべて防災で役に立つ一親子で楽しく身につけ、地域を安全にする方法」でした。

ハザードマップを楽しく読み解くコツや、寒さ暑さ対策には気化熱の伝わり方の知恵が必要であること等を分かりやすく解説してくださいました。また、国が作成した楽しいコンテンツや動画の活用法など今すぐにでも試したくなるような楽しく惹かれる講演でした。ここでいただいた情報は備えあれば憂いなし委員会で役立てたいと思います。

2日目、広島グリーンアリーナにて開催されました全大会に参加しました。

アトラクションの「広島ジュニアマリンバアンサンブル」の皆さんの演奏は、すばらしくそして可愛いパフォーマンスに感動しました。

記念公演は黒川伊保子さんによる「心のトリセツ」でした。人工知能の研究をされていたことから、対話スタイルには脳の違いがあることを発見されたそうです。講演の内容も共感できる物事が多くて聞いていて楽しかったです。普段の生活や会社でのコミュニケーションで取り入れたい内容が多く感じました。

・とっさの思考力は2つ。事のいきさつ派と今できる事派。ことのいきさつ派は共感してほしいが今できる事派は一刻も早く解決したい。このペアは鉄壁だがコミュニケーションがうまくいかない。

・対話の奥義は共感。「いいね」「わかる」で受けるポジティブ提案型とネガティブ相談系。

・日本人がよく使う主語を付けずに「ダメ」「無理」は人格否定につながり、自己肯定感を損ねてしまう。

・効果を出せるチームは心理的安全性が確保されている。心理的安全性とは「何でもないことをしゃべれる安心感」

・ヒトのとっさの行動には4種類。驚いたときに①飛び上がる②肩をあげた固まる③身構えて固まる④のけぞる。①と②は指先に力が入るタイプ。③と④は手のひらタイプ。これによって指導の仕方が合わないと「できない子、運動音痴」と思われてしまう。

指先タイプは勘がよく何をするにもグッドビギナー。

手のひらタイプはスロースターター。ラストスパートがきく。飽きないあきらめない、不測の事態にもイラつかない。

#### 失敗三か条

失敗を人のせいにしない。

過去の失敗をクヨクヨ思い出さない。

未来の失敗をぐずぐず言わない。

失敗三か条は、日々自分に言い聞かせたいと思います。